

酸化プロピレン

Propylene oxide



1. 別名

プロピレンオキシド 1,2-エポキシプロパン

2. 性質

液体 無色 エーテル臭

分子量；	58.08	比重；	0.859
蒸気密度；	2.00	沸点；	35
蒸気圧；	59kpa(蒸気濃度56.6%)		
下部引火点；	- 37 >	上部引火点；	- 3
爆発範囲；	1.9 ~ 37.0%	発火温度；	449
溶解性；	易()		
許容濃度；	日本 - ppm 米国20ppm(TWA)		

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性；揮発性が強く極めて引火しやすい。空気または酸素と接触している状態で、圧力や熱を加えると、分解爆発するおそれがある。水を混ぜて60 以上に加熱すると、重合爆発するおそれがある。

人体への影響；目を侵しやすく、角膜炎を起こす。蒸気を吸入すると低濃度の場合

軽い頭痛、めまい、嘔吐、高濃度の場合は、粘膜を刺激し、肺水腫を起こすことがある。

臭気限界200ppm

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法(NIOSH)

5. 用途及び発生場所

プロピレングリコールの原料、溶剤、合成樹脂、界面活性剤の原料

6. 関係法令

安衛令(危険物)、消防法(危険物第4 類特殊引火物)、
高压法(可燃性ガス)、危険物船送則(引火性液体類)、
IMDGコード・クラス3-1

7. 検知管の適用

